

おたる 西別院だより

季刊 第86号



「実・ハマナス」

別院・説教所の報恩講の日程

- 小樽別院 ----- 10月12日(日)～16日(木)
- 彰心会（若竹説教所） ----- 9月28日(日)
- 法友会（新光説教所） ----- 10月24日(金)～25日(土)
- 樹心会・唯信講（奥沢説教所） ----- 11月2日(日)～3日(月)

10月12日(日)から18日(土)まで、月忌参詣をお休みさせていただきます。



大悲無倦常照我

報恩講 講師
佐々木 至成

私は先年、徳島のお寺へご縁を頂いた折、四国霊場八十八ヶ寺の一つを訪れました。ご門徒の中に「お四国巡り」をする方がいることを知っていたので見ておきたかったからです。

団体バスで来られていた中に真宗門徒の方がたくさんいらしたことに驚きました。穴くぐりの場所へ向かって坂道を登りながら近江から来たという団体の方々と話しました。「真宗門徒の方がどうして？」と尋ねましたら「私等は真宗門徒だが、お大師信仰している。弘法大師奉讃会に入っている」と言われました。穴の近くのお堂に着くと、その前に正座して、全員で「南

無大師遍照金剛」と唱題し、般若心経を唱え、お堂を巡回してから穴くぐりへ向かうのです。勿論、真宗門徒の方も諳んじて唱和していました。

私は「何故真宗門徒の方が!？」と愕然としました。同時に、本願名号南無阿弥陀仏が何かを届けていない現実に直面して、私達布教使（僧侶）の責任を強く感じました。

穴をくぐってやっと到達した所は、十畳間ほどのドームでした。その中央に安置された弘法大師の座像の前で、全員唱題目の後、順次「○○○子、無病息災！」などと祈願を口称するのです。勿論真宗門徒の方も。その都度、ガイドのおばあちゃんが「弘法大

師様よろしくお願います」と合掌礼拝するのです。

浄土真宗門徒の私達も阿弥陀如来を対象仏として拝み、願い事をしたりしていませんし、願い事をする必要はないでしょう。阿弥陀如来は本願に親心の全てを廻向顕現して私に至り届いて下さるはたらきの自己表現です。そのはたらきに智慧と慈悲とに目覚め、罪業の深さを懺悔し、ご恩徳の深さに感謝して念仏申して生きる身にお育て頂くのが浄土真宗でしょう。私から離れることなく常に願い、はたらき続けて下さる阿弥陀如来の大悲に感謝すると共に、前述のような真宗門徒の方がいらっしやることに深い悲しみを感じます。

「実・ハマナスを描いて」

初夏になると、石狩海岸へ出かけ、ハマナスを描くことを楽しみにしています。植物が生きるには、厳しい環境の砂丘にしっかりと根づき、美しく可憐に咲くハマナス。花が終わると淡青緑色からオレンジ色に変わり、秋風とともに朱紅色になり、さらに季節とともに真紅に彩る実達。花も実も描くには大変楽しい魅力ある植物です。実を描きたくて描いた小品です。

（小樽美術協会小品展出品作・SM）
小樽市展委員・小樽美術協会会員

高橋 雅子



◆2008(平成20)年度 宗祖親鸞聖人報恩講法要日程◆

期日	時間	法要・行事	布教（ご法話）
12日(日)	13時30分	○逮夜法要	一席
13日(月)	6時30分	○晨朝勤行	一席
	10時00分	○日中法要	一席
	13時30分	○逮夜法要 御伝鈔上巻拝読	一席
	18時00分	○初夜勤行	祖徳讃仰（崇敬法中 一席） 一席
14日(火)	6時30分	○晨朝勤行	一席
	10時00分	○日中法要	一席
	13時30分	○逮夜法要 御伝鈔下巻拝読	一席
	18時00分	○初夜勤行	祖徳讃仰（崇敬法中 一席） 一席
15日(水)	6時30分	○晨朝勤行	一席
	10時00分	○日中法要	一席
	12時00分	おとき（お食事）	
	13時30分	○大逮夜 御俗姓拝読	
	18時00分	○物故者追悼法要 ○初夜勤行	一席 祖徳讃仰（崇敬法中 一席） 一席
		○後夜	
16日(木)	6時30分	○晨朝勤行	一席
	10時00分	○満日中 お礼言上	一席

布教使 広島県 照専寺 佐々木 至成師

仏事のイロハ〜ビハラーについて〜

今宗門で取り組んでいるビハラー活動。みなさんご存知でしょうか？ビハラー(Vihara)はサンスクリット語で僧院、寺院あるいは安住・休養の場所を意味します。

ビハラー活動とは主に延命を目的とするのではなく、人生の質(QOL)を向上することを目的とした活動です。患者自身の意志を尊重し、医療的な処置と精神的な処置を兼ね備えた総合的な措置がとられています。たとえば心身の障害や疾患、認知症などの悩みは本人だけのものではなく、その介護にかかわる家族や周りの人にも負担や苦悩が付いてまわります。ある

いは突然の災害や事故によって、心身に傷を受け、日常生活を送ることが難しくなった方々もいらつしやいます。あらゆる環境の元で苦しむ人々に、身体的な苦痛を和らげるところから一緒に寄り添う。そこから精神的な苦痛や悩みを共有して行く、たとえばそこからビハラー活動は始まります。薬を与えて治すだけでなく、その人の苦しみに向き合う。そのために医療・保健・福祉・介護と仏教が手を取り合う必要があるのです。ビハラーの歴史はまだ浅く、一九八五(昭和六十)年にビハラーという呼称が提唱され、浄土真宗本願寺派では一九八七(昭和六十二年)にビハラー活動が



ビハラー本願寺

始まりました。今では浄土真宗以外に曹洞宗でも取り組んでおり、広く仏教関係にも浸透してきています。



あそかビハラークリニック

尚、西本願寺では、親鸞聖人七五〇回大遠忌の記念事業の一環として、京

都府城陽市に特別養護老人ホーム「ビハラー本願寺」と有床診療所「あそかビハラークリニック」が今年四月一日にオープンし、ビハラー活動の促進に勤めています。

葬儀用供物：**フラータオル**
意匠登録認定済
金欄大座布団

発売元 有限会社

赤村田布団店

国道5号線沿 竜宮神社下角
小樽市稲穂3丁目21番12号
電話 代表(22)5082番

和洋菓子

りりあん
里李庵



牧田敏雄

店舗 小樽市朝里2丁目13番15号
電話 店舗(54)-6127

新畳・表替・裏返・畳工事

やっぱり畳が落ち着く
生き続ける伝統の技

曲木下畳店

小樽市山田町8-6

☎ FAX 23-2245

ご門徒さん
を訪ねて

第6回

ケア・オフィス優

住所 〒04770021 小樽市入船三丁目七番二号 電話(六四)五二二一番

今回は入船町の訪問の介護・看護施設の管理者二丹田 早稲子さんにお話を伺ってきました。



二丹田さんと兄の畑さん(事務担当)

最近

あちこちで
訪問介護や
デイサービ
スの施設が
増えてきま
した。今で
は病院と同

昔話もそこそこに、ケアオフィスに

なるまでの経緯を伺うと、そこには大
変な苦労が…。二丹田さんはもともと
病院系列で十年近く勤務してらした
そうですが、病院で息を引き取られる
方を目の当たりにして、自宅で家族に
看取られながら最期を迎える、そんな
生き方ができないかと考え、独立した
そうです。四畳半の事務所から出発し、
今に至るそうです。「病院にいた頃は

今はその場での確な判断をしなくちゃ

ならないんです。家族ぐるみで協力
を頂くことも多いですし。だからスタッ
フも経験者以外は採用していません」
「ご家族には「ご自宅で最期を迎える
とは…」という冊子を配布して、家族
みなさんの心の準備とケアもするそ
うです。これからの時代、生き方と
同時に死に方も選べるようになった
気がします。

じく必要な存在になってきた感じがし
ます。その中の一つにお邪魔してきま
した。

患者さんと呼んでいましたが、ここで
は利用者さんと呼んでいます」少しで
も利用者の方と距離を縮めたい、その
思いがやはり強いみたいです。

最後にお寺に対して何かあります
か?という質問をなげかけると、「私
たちは医療的な面から、お寺では宗
教的な面から人と向き合っていけたら
良いですね。私たちに話せないことも
お寺さんにだつたら話せるという方も
多いです。それがお寺さんの特権じゃ
ないかな」と重みのある言葉を頂きま
した。

「この店舗は元々が酒屋で、その
後コンビニに改装し、この春ケアオフィ
スにされたそうです。「元々このあた
りは馬車屋町と呼ばれていて、商店が
建ち並んで賑やかだったんですよ。だ
からうちがコンビニをやめる時には近
所の方々が惜しんでくださいましたね」
とお話してくださいました。

「病院と比べてどうですか?」とい
う問いには、「病院の頃は待つ側だつ
たんですが、今はこちらから伺う側
になりました。病院では、指示を出
してくれたり頼れる人がいましたけど、

取材を終えて

携帯電話を3つ所有し、そのうちの
1台は会話が不自由な方の専用にな
っていて、着信があれば名前を見て
すぐに自宅に伺う。こんなきめ細
かなサービスをしているそうです。
24時間休みはなし。感謝も非難も
一手に担う。立場は違えど、生命
と向き合うその姿勢から多く学ば
せていただきました。(森)



小樽別院

8月9日(土)・10日(日)

盆踊り大会の報告

盆踊りのようす



準備（8月7～8日）

檣の設営 配線
音響設備 テント設営 等々



子どもゲーム大会



出店のようす

射的・やしそば(職員)
 ヨーヨー&
 スーパーボール掬い
 (幼稚園)
 ポップコーン
 (仏教青年会)
 焼き鳥・おでん・ビール・
 ジュース・フライドポテト・
 かき氷・スピン・アメリカン
 ドック・たこ焼き



10日 よさこい演舞



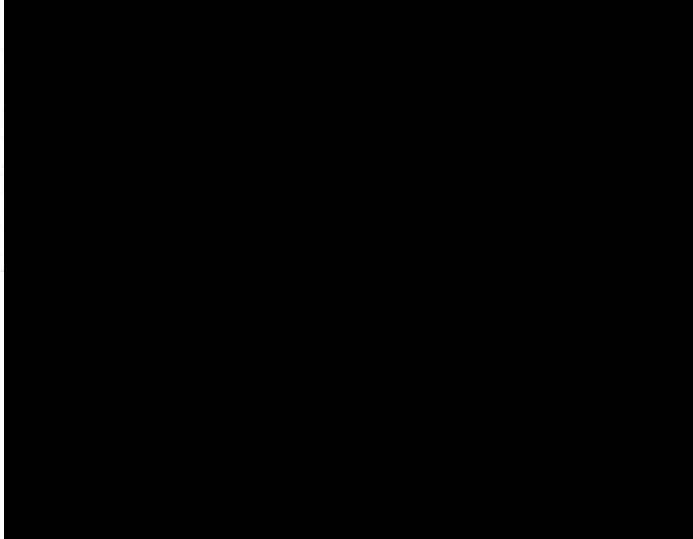
急遽決まった予定にもかかわらず
見事な演舞をありがとうございました。

ご協力いただいた方々、遊びに来てくださった方々、そして踊りに参加して下さった方々、みんなみんなに感謝!!!!

**本堂修復懇志新規
進納者御芳名**
（平成二十年七月末日現在）

松田タエ子
永井いね子
（敬称略）

別院門徒物故者
（平成二十年七月末日現在）



**3分間の
心のともしび**
小樽別院



テレホン法話
TEL 27-1616

24時間
いつでも
どうぞ

●テレホン法話担当表

10/ 1(水)~15日(水)	森本	11/16日~30日(日)	森
10/16(木)~31日(金)	村田	12/ 1月~15日(月)	脇
11/ 1(土)~15日(土)	温井	12/16(火)~31日(水)	山邊

常例布教講師

10月


前期 常例布教お休み
後期 常例布教お休み

11月

前期 山口県願生寺 山名 真達師
後期 滝川市光明寺 三栗 得生師

12月

前期 福井県明正寺 畑中 尚治師
後期 未定

編集後記  今回の西別院だよりに、ビハーラ活動と介護・看護
についての記事を掲載しましたが、二つの記事内容
を幾度も繰り返して読んでみると、浄土真宗の生活信条と文章は異なるものの、真
実は全く同じと痛感いたしました。
そして、美しい表紙絵に画かれているハマナスの実の実る浜辺で、声高らかに浄土
真宗の生活信条を唱えたいかなるような、第86号が出来上がったと喜んでいきます。

編集委員

門徒委員	別院担当者
福川ヨシ子	森本 一燈
平田 晴己	温井 卓生
宮本 和枝	森 敬信
竹澤 知恭	

連絡先

本願寺小樽別院 小樽市若松1丁目4番17号
☎0134-22-0744 FAX 0134-29-4080

みんな

仲良し

小樽幼稚園



～まこと(いのち)の保育を行っています～



小樽幼稚園のお泊まり会

7月22日、小樽幼稚園のお泊まり会がありました。日中は札幌のさくらんどでバター作りを体験し、夜はお寺のホールでみんなでカレーを食べ、スイカ割りに花火に肝試しに、翌朝はお寺のおあさじに参拝。みんなお疲れさま♪



スイカ割り



バター作り



花火

園児募集

途中入園可能

- 募集園児 3歳児(H16.4.2～H17.4.1生まれ)
- 4歳児(H15.4.2～H16.4.1生まれ)
- 5歳児(H14.4.2～H15.4.1生まれ)

願書受付 新入園受付中です。
※事前に御連絡下さい。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園

TEL FAX

0134-22-6536

広告募集

「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。
詳しくは 0134-22-0744 別院だより担当者：森までご連絡下さい。